

議会だより



出張！！どこでも意見交換会

Contents

- | | | | |
|-------------------------|--------|------------------------|--------|
| ▶ 行政報告等 ————— | P2-3 | ▶ 議会改革調査特別委員会 調査中間報告 — | P16-18 |
| ▶ 議案審議（3月定例会） ————— | P4 | ▶ 採決結果 ————— | P19 |
| ▶ 予算審査特別委員会報告・質疑 ————— | P5-9 | ▶ 議会日誌・あとがき ————— | P20 |
| ▶ 行政執行方針、教育行政執行方針 ————— | P10-11 | | |
| ▶ 一般質問（4名） ————— | P12-15 | | |

雄武町議会 YouTube は
こちらから



行政報告（高橋町長）

3月9日

3月定例会の中から、行政報告とその関連質疑をお知らせします。

◎懸案事項における要望活動

【自由民主党移動政調会】
・道路整備の計画的な促進について ほか11件

◎北見幌内郵便局における広域紋別病院オンライン診療の開始目的

医療資源が限られた地域における医療提供体制を維持・構築し、地域住民の暮らしを支えることを目的とする。

対象

交通手段の確保が困難で、医療機関への定期的な通院に課題が生じている地域住民。

実施場所 北見幌内郵便局

実施日 月1回（火）

※病院と郵便局が事前に調整の上、計画的に実施。

実施方法

郵便局内にオンライン診療環境を整備し、病院及び調剤薬局と接続することで、診療から服薬指導までを行う。また、診療看護師が郵便局に同席し、触診や打診、採血などを現地で実施する。



◎医療連携協定の締結

協定先

社会医療法人朋仁会

整形外科北新病院（札幌市）

医療連携内容

(1)雄武町国民健康保険病院からの整形外科領域の疾患が疑われる患者の紹介（検査・診断、治療など）

(2)整形外科領域の疾患に関する専門的意見を求めるための相談

(3)精査段階における他の病変発見時の専門病院への受診勧奨

協定日 令和8年3月1日



◎防災担当専任職員（防災監）の配置

氏名

河々谷 隆（55歳）

採用年月日

令和8年4月1日付け

配置部署 地域防災室

役職 室長（課長職）

経歴

・昭和63年4月
陸上自衛隊入隊

・平成29年3月

第2特科連隊第4大隊

本部管理中隊（中隊長）

・平成30年8月

第2師団司令部総務課

（渉外幹部）

・令和4年3月

第2師団司令部監察官

（監察幹部）

・令和7年8月

第2師団司令部付隊

（副隊長）

・令和8年3月

陸上自衛隊退職



● 省エネエアコン購入助成

嶋村

申込件数は52件と非常に助成効果が出ていると思うが、助成事業を継続で予算措置をする考えはあるのか。

住民生活課長

非常に引き合いが高い事業であり、今議会においても総数70件(※)を見込んだ形での予算を提案させていただいた。この制度は国の物価高騰対策事業を財源としており、延長はないことから、事業は一旦終了させていただく。今後、財源を活用できるものがあれば、助成事業の検討は進めていきたい。

(※) その後、申込みがさらに増えたことから追加補正があり、総数100件の予算となった。

遠藤

他の課との情報共有はなされているのか。クーリングシェルターの利用が難しい方や高齢者世帯の方が実際どれくらいこの助成を申し込みしたのか。

住民生活課長

積極的にそういった方を対象にした話ではなく、既にエアコンを付けられた方に対する助成であるため、詳細についての分析は行っていない。今後、関係各課とは情報共有をさせていただきたい。



● コミュニティバスの運行

嶋村

乗車人数の記載があるが、計画対比でどのような動きになっているのか。

公共交通対策室長

令和8年2月末現在で3164人が乗車している。1年の利用目標人数は1880人としており、すでに計画よりも高い168.3%の乗車がある状況。

3月9～18日(10日間) 審議内容

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| ●行政報告(町長) | ●町行政執行方針 |
| ●行政事務報告(副町長) | ●教育行政執行方針 |
| ●教育行政報告(教育長) | ●令和8年度各会計予算9件 |
| ●各会計補正予算11件
(専決処分1件含む) | ●令和8年度予算関連議案3件
※上記2件一括上程 |
| ●条例制定・改正・廃止4件 | ●一般質問(4名) |
| ●委員の選任ほか4件 | ●予算審査特別委員会(3日間) |
| | ●予算審査特別委員長報告 |

行政報告等に関する質疑応答

● 幌内郵便局におけるオンライン診療

遠藤

オンライン診療は北海道で初めての試みとのこと、非常に喜ばしいことだと思う。診療の対象者はどのように選定されたのか。処方された薬はどうなるのか。

地域医療対策室長

対象者は「定期的な通院が困難な方」となり、対象となる患者さんから要望があれば対応する。薬剤については調剤薬局に直接取りに行くことも可能だが、相談をして郵送等の形を取っていただくことも可能と聞いている。

● ふるさと応援寄附金

嶋村

全体的に前年をかなり上回っているが、年末から1月にかけては落ち込んでいる。原因を分析しているか。

ふるさと納税推進室長

好調であったホタテ製品が完売し伸びなかったことと、昨年10月の法改正によるポイント付与廃止が要因と考えている。

3月定例会 議案審議

定例会の議案審議中に行われた質疑応答の内容をお知らせします。

◆社会福祉施設空調設備整備工事

(令和7年度雄武町一般会計補正予算(第8号))

遠藤

社会福祉施設の空調整備工事、沢木・幌内・魚田の工事の詳細は。

公共施設整備調整室次長

幌内歴史と生活の家については和室に20畳用のルームエアコン、沢木住民センターと音稲府地域住民センターにはそれぞれ23畳用のルームエアコンが整備される予定。

遠藤

町民センター和室空調設備整備工事はどのような経緯で行われることになったのか。

公共施設整備調整室次長

町民センターの空調設備は昨年度、部内協議を行い、熱中症対策の関係で整備をするという話となり、公共施設整備調整室が新設されたので、ここで発注することとなった。

町民センター自体は自家発電設備を備えているので、それを稼働させれば停電時においても空調設備も動く形となっている。

◆中雄武集落センター改修工事

(令和7年度雄武町一般会計補正予算(第8号))

遠藤

中雄武の集落センターは日頃どのように活用されているのか。工事の詳細は。

産業振興課長

中雄武集落センターの利用状況は、自治会の役員会や総会などで10回程度、その他地鎮祭や酪農振興会、女性学級、その他もろもろで年間30回程度利用している。工事内容は、外壁工事、壁をガルバリウム鋼板仕上げのものにする。屋根を遮熱性の塗装と軒先の改修、サッシ、フードと玄関ポーチの既存タイルがかなり傷んでいるので改修する。

◆役場第2駐車場整備工事

(令和7年度雄武町一般会計補正予算(第8号))

嶋村

「駐車場の狭隘^{きょうあい}状況を解消するため、第2駐車場を整備する」という説明だが、役場前の公用車は、そちらに駐車するという考えでよいのか。

財務政策課長

役場前の駐車場には、緊急時などに使う車両を2、3台置き、他はそちらに移動する予定。別館についても同様で、台数を決めてはいないが、第2駐車場に余裕があるので、できる限りそちらに移動させたい。場所は国道の高架下付近で、川沿いに空き地があり、寄附を受けて整備する。

補正予算 【主な内容】

・一般会計(第8号)

中雄武集落センター改修工事(繰越明許分)	1100万円
役場第2駐車場整備工事(繰越明許分)	1800万円
社会福祉施設空調設備整備工事(繰越明許分)	142万円
さとふる業務委託料	6129万4千円
除雪業務委託料	5120万円



予算審査特別委員会報告

令和8年度 予算審査特別委員会

委員長報告（要約）

採決の結果、予算に関連する議案3件及び令和8年度の予算案9件の計12件については「原案可決すべきもの」と決定しました。

【審査意見】

①道の駅「おうむ」の再整備

道の駅「おうむ」は、産業道路と観光道路の両面の魅力をもつ国道238号のほぼ中央に位置しており、オホーツク海の日の出や流水を眺めにくる人々などが訪れる重要な観光拠点であることから、市街地の中心シンボルとして周辺施設・店舗との連携強化を図り、町内外の人々が賑わい、防災機能も有する「道の駅」としての再整備に向けた構想を早急に検討されたい。

②雄武高校の「地域みらい留学」制度による入学者の確保

雄武高等学校においては、入学者数が3年連続で20人を下回る見込みとなっている。高校の存続は、地域の未来を担う子ども達の教育機会の確保、子育て環境やまちの活気にも大きく影響を与える。そのため雄武高校存続対策協議会を

はじめとした地域全体での取り組みの活性化と北海道教育委員会と連携した特色ある学校づくりを早速に進め「地域みらい留学」による入学者数の確保に意を尽くされたい。

③国保病院における「急性期病床」から一部「地域包括ケア病床」への転換

地域包括ケア病床では患者は入院しながらリハビリもできるので、理学療法士が日常の生活動作のサポートを行い在宅復帰の準備ができる。現在の急性期病床の入院日数は15日から20日程度であるが、地域包括ケア病床に転換した場合、最大60日の入院も可能となる。転換に必要なこととしては病棟専従の理学療法士を配属することが必須条件となっており、その他様々な施設基準をクリアしなければならぬ。できるだけ早期の実現を期待したい。

令和8年3月18日

予算審査特別委員会

委員長 嶋村 義文

令和8年度 各会計の当初予算

会 計 名		予 算 額	前 年 比
一 般 会 計		67 億 7900 万円	△ 4 億7800 万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	6 億 8373 万 7 千円	△ 2434 万 3 千円
	介 護 保 険	5 億 5519 万 1 千円	977 万 6 千円
	介 護 サ ー ビ ス	1 億 2864 万 7 千円	5446 万 2 千円
	後 期 高 齢 者 医 療	1 億 2160 万 1 千円	2685 万 7 千円
	介護老人保健施設	1 億 9504 万 2 千円	27 万 2 千円
企 業 会 計（※）	簡 易 水 道	6 億 9404 万円	8277 万 6 千円
	公 共 下 水 道	5 億 1699 万 6 千円	△ 178 万 4 千円
	国民健康保険病院	9 億 5626 万 6 千円	△ 2213 万 1 千円
合 計		106 億 3052 万円	△ 3 億 5211 万 5 千円

【一般会計】

町税、地方交付税、国庫補助金など税金をおもな収入源として町民に関わる経費を賄う会計

【特別会計】

国民健康保険や介護保険など利益を受ける人たちがそれに関わる経費を負担する会計

【企業会計】

水道や下水道、病院など独立採算による特定の事業を経理する会計

※ 企業会計の額は収益的支出と資本的支出の合計額

● 施設解体工事 ●

柳原

町有施設として解体を必要とするものをどれくらい把握しているのか。旧焼却場と魚田の旧保育所も町有施設かと思う。解体には莫大な費用がかかると思われるが、町の考え方は。

財務政策課長

町有施設の全てが管財系の持ち物というわけではないが、把握している中でまだ解体が行われていないものが数件あり、早めに対応が必要と考えている。魚田の旧保育所はまだ物が入っている状況。公共施設整備調整室もできたことから、今後施設をどうするかをこれから考えていく。その中で解体や、これまで使ってきたものを廃止するなど、議論していく。

町の施設



人材と財源

● 地方創生人材支援業務負担金 ●

遠藤

地方創生人材支援業務負担金 800 万円にはスマホ教室などの活動を行う人材が含まれているのか。一般財源からの負担はあるのか。

DX推進室長

今回来ていただける方は他の町村での実績があり、スマホ教室を積極的に実施されていると聞いている。雄武町としても今後、そういった活用について検討して打合せをしていきたい。財源は国から610万円の交付金をいただく予定で、残りの190万円は一般財源という形になる。

令和8年3月11日～13日
予算審査特別委員会で
行われた質疑の一部を
掲載します。



予防接種

● RSワクチン ●

遠藤

RS ワクチンはどういったもので、何名分を計上してるのか。

健康推進課長

RS ウイルスは乳幼児が感染すると、細気管支炎や肺炎など重症化を招く恐れがある。

妊娠中の母親がRS ワクチンを接種することで、胎児に抗体が移行し、生後間もない乳児の重症化を高い確率で防ぐことができる。

20 名分の予算を計上している。



● 防犯灯の故障 ●

遠藤

以前の水銀灯の場合は電球の交換なので、それほど費用はかかっていなかったが、LEDになると部品の交換で、水銀灯と比べ8倍ぐらゐの費用がかかる場合もあると聞いている。防犯灯の故障と費用の分析を町は行っているのか。今回、防犯灯で340万円計上されているがその詳細は。

防災交通係長

灯具の交換のみであれば数万円かかる場合もあるが、丸ごと交換になった場合は17万円ほどかかる場合もある。例えば沢木の自治会については、平成26年度から自治会防犯灯の整備を開始して、10年以上経過している。経年劣化ということもあり、一部灯具自体を交換して費用が大きく発生したという場合も現状としてはある。

遠藤

ほかの自治会の状況はどうか。複数個故障して修理する費用が何万円と積み重なってくると、自治会の運営費も圧迫するのではと懸念している。修繕費の支給を速やかに行うことはできるのか。

総務課長

何年かに分けて計画的にLEDにしてきたが、今のところ全体的にまだそれほど古くないため、この予算内で全ての自治会に補助ができている状況。

防災交通係長

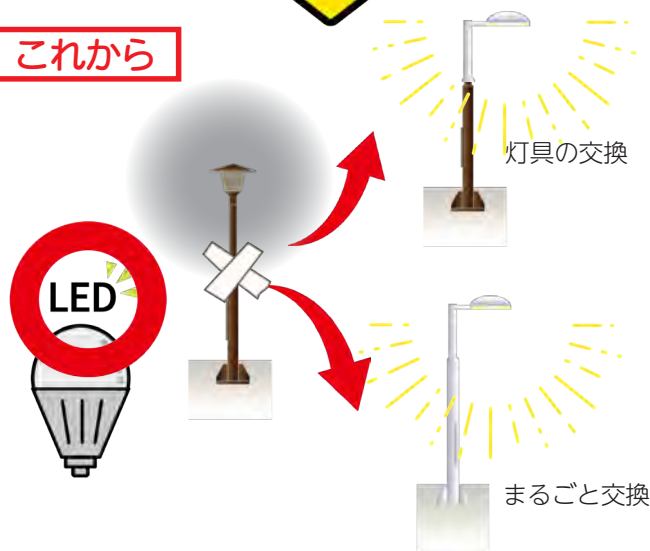
防犯灯の費用は28自治会で年度初めに自治会の通帳の写しをもらい電気料の支払いという形で支出している。令和8年度の場合では7年度の分のかかった費用を助成するという形。

ほかの自治会からは、複数故障するという話は聞いていないが今後、経年劣化でそういう自治会が出てきたときに分析していきたい。

いままで



これから



予算審査 特別委員会 質疑①



● おうむ産業観光まつり補助金 ●

高橋

おうむ産業観光まつり補助金が前年と同じ金額となっている。花火の寄付金集めの方法を変えたと聞いたが、予算が足りていないのではないか。

産業振興課長補佐

この補助金は花火の予算に流用はしていない。寄付金に関しては実行委員会の方針であると認識している。イベント運営が厳しいと承知しているので、検討の必要はある。

町長

産業まつりの事業評価で運営が厳しいと承知しているが、補助金を増やす提案は上がってきていない。町の最大のイベントなので検討の余地はある。



産業

● 有害鳥獣捕獲委託料 ●

柳原

雄武町では春季の管理捕獲を始めたと聞か、この経費の流れはどの部分か。来年度もそこを考慮して予算を組んであるのか。

林務係長

ヒグマ出没防止対策役務費については、熊が出没した周辺の草刈りで、こちらは町で実施することを考えており、自治会から要望があった際に実施することと考えている。有害鳥獣捕獲委託料の内訳については、カラスの駆除で 51 万円、エゾシカの捕獲で 345 万円、ヒグマ・キツネの駆除で 555 万円、ヒグマの春期管理捕獲で 81 万円を見込んでおり、この合計が有害鳥獣捕獲委託料、1032 万円となる。

● 人件費に対する補助金 ●

柳原

産業団体の中でも建設業や水産加工業など厳しい状況である。外国人技能実習生を抱えている産業は最低賃金も上がっている。今後の支援等は。

町長

本町の外国人技能実習生に対する支援は他地域では行っていない予算を組んでいる。建設業は建設事業継続性を鑑みて、公営住宅は毎年やっていただきたいという要望がある。



水道

● スマートメーター ●

遠藤

3 月からスマートメーターが開始され、これまで従来の紙の検針票を求める問合せは何件来ているのか。また原則ペーパーレス化をとっているが、必要な人にどのように対応していくのか。

建設水道課長補佐

令和 7 年度に 2305 件のスマートメーターを設置している。3 月上旬からポータルサイトの登録が始まり、現時点で約 220 件の申込みがあった。町民からの問い合わせは 2 件あり、1 件はパソコン、スマホを持っていないため紙の検針票を希望、もう 1 件はパソコン、スマホはあるが印刷の手間が面倒というもの。窓口には高齢者 6 名の方が来られ、水道業務係で説明しポータルサイトへの登録を完了している。今後は、ご高齢の方の集まりに水道業務係が実際に訪問し、複数名の方に説明するなどの対応をしていく予定。

病院・特養



● 特別養護老人ホームの照明 LED 化 ●

遠藤

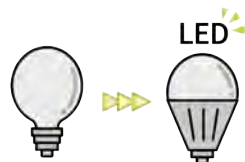
特別養護老人ホームの照明 LED 化について、工事の詳細は。

社会福祉係長

LED 化については既存棟 390、ユニット棟 317、ショート棟 40、デイサービス棟 50、合わせて 797 の灯具を LED 化する予定。これは居室内の照明や非常灯など全て踏まえた個数。

地域福祉課長

LED 化は年内に工事を施工完了し、入所者に迷惑がかからないような形で進めたい。



● 理学療法士 ●

遠藤

理学療法士がさらに 1 名増えるとのこと。今後の展開と、病院経営強化プランの実行支援業務委託の詳細は。

病院事務長

理学療法士については、病院の施設基準に基づき、一般病床を地域包括ケア病床に一部転換することを計画している。理学療法士をその病棟に 1 名必ず配置しなければならない決まりがあり、1 名募集している状況。病院経営強化プラン実行支援業務委託については野村證券の医療コンサルタント部門にお願いしている。

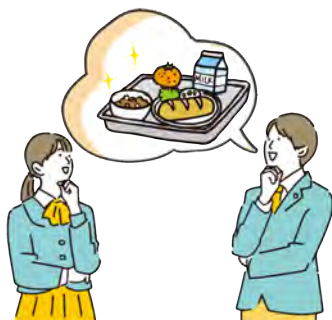
● 高校の給食導入 ●

溝田

教育行政執行方針の中で「雄武高校の全国募集を機に給食も導入したい」という考えを述べられていたが、研究費などは計上しないのか。

教育長

まだ高校とは正式な形でやりとりはしていないが、高校と相談しながら、検討する必要がある。地域の給食センターから配給を受けている道立高校もあるので、そういった高校の事例を調査していく。



予算審査 特別委員会 質疑②

学校



行政執行方針

教育行政執行方針



3月9日、町長や教育長が翌年度に向けての基本姿勢や主要施策など、町政運営の方向性を示す「行政執行方針」「教育行政執行方針」が示されました。

質疑の内容をお知らせします。

【ガバメントハンターの採用】

嶋村 新規狩猟者の確保に向けての支援も継続という記述があるが、町としてガバメントハンターの採用についての検討は。

町長 新規狩猟者確保については必要だという認識の中、町単独で狩猟免許について費用の予算措置をしている。今後は、ガバメントハンターの養成について国の支援もあるので、自治体でも支援をしつつ、やっていかなければならないと考えている。



【防災行政無線】

遠藤 屋内で防災無線が聞きづらいとの声がある。スマートフォンなどのアプリを利用して確認できるようになると思うが、それらを扱うのが難しい方も一定数おられるのではないか。その方にはまた別の対応が必要と考えるが。

町長 スマートフォン等が普及してきているので、アプリを導入し、状況を見極めて、そのあとは専用のラジオ等を整備するという順番で考えている。

【小中一貫教育の導入】

嶋村 今までは小中一貫教育なのかはっきりしていなかったが、新年度からは小中一貫教育を目指して検討していくということか。

教育長 小中一貫教育の導入を見据えて検討しているところです。時間がかかるかもしれないが、そういったスタンスでのぞむ必要があると考えている。

【小中一貫教育とは】

小中一貫教育とは、小学校と中学校が同じ教育目標のもと、目指すことも像を共有し、義務教育9年間を通じて系統性・連続性を重視した教育活動に取り組む教育体制のことです。

小中一貫教育の学校形態には、修業年限が従来型の小学校6年・中学校3年である「小中一貫型小学校・中学校」と、修業年限を9年間とする「義務教育学校」との2種類がありますが、いずれの形態でも教育課程の特例が認められており、独自教科の設定や指導内容の入れ替え・移行等が可能となります。



【在宅診療方針】

柳原 医師が3名体制になったが、今後の在宅診療方針は。

町長 診療計画を立てて定期的に訪問することによってご高齢の患者さんが楽になる。自宅を訪問することは、患者と医師の信頼関係のもとでやっていくことになるので、徐々に増やしていきたい。

オホーツク管内も外来数は減少し、病院に行かず我慢してる方が重症化するのが一番まずいパターンだと考えている。そういう方に在宅診療をPRしていきたい。また、自宅で孤独死をするケースが雄武町でも数件ながら発生している。こういった事態を避けるためにも、在宅診療で関わってきたい。

【VR技術を活用した体験型講習】

嶋村 「VR（仮想現実）技術を活用した体験型講習」の内容は。

地域包括支援センター所長 ゴーグルのようなものを装着し「実際に存在しないものが見える」「視界の狭さ」「距離感の喪失」「顔の認識のしにくさ」など、認知症の方が日常生活で抱えている不安や葛藤^{かつどう}を当事者の視点で疑似体験するものです。



VR（仮想現実）技術を活用した 体験型講習 ※予定

実施日：9月中旬の5日間を予定（普及啓発を含める）

対象人数：50人程度

対象者：雄武町の医療・介護の従事者、地域包括支援センター相談協力員、町民

【雄武高校の特色と魅力化】

溝田 令和9年度入試から道外からの生徒を募集するということだが、オホーツク管内の方にも目を向けて行く必要があるのではないかな。

教育長 道外募集の条件のひとつとして生徒の住宅の整備がある。これが整えば、管内にとどまらず全道へのPR活動は必要と考えている。

溝田 高校魅力化コーディネーターの募集とあるが、人材にめどは立っているのか。

教育長 現在ホームページで募集しているが、応募は無い状況。

【中東情勢が及ぼす一次産業への影響】

遠藤 2026年の2月末から3月上旬にかけて中東情勢が非常に緊迫した状況になっている。この影響が長引くと原油価格の高騰や、基幹産業である一次産業にも影響が及ぶのではないかと心配している。町長の考えは。

町長 原油価格がもう既に上がっている。物価高騰対策を行ったのにもかかわらず、更に行う必要性が出てくるのではないかと考えている。これは雄武町だけの問題ではないので、国や道の対策としてやるべきところとも思っている。情報収集をしながら、雄武町としても、そこに手を入れていかなければならないと考えている。



雄武高校が全国募集をする際の寮整備の考えは

教員住宅を住居スペースにする検討をしていく（教育長）

雄武高校存続対策

雄武高校存続対策の現況は。

町長 存続対策協議会を開き雄武高校の現状、今年度以降取るべき方策について議論しました。

高校の入学者が2年連続20名を切ると特例校になり、再編統合や募集停止の対象になるのでは。

教育長 雄武高校は地域連携校であり、2年連続で20名を切った場合でも地域と連携して、高校の特色化、魅力化と入学者確保のための集中取組期間を設けて、再編整備を留保するという形になっております。

雄武高校が全国募集をするという事であるが住宅や寮整備の考え方は。

教育長 町内の教員住宅1棟を住居スペースにする検討をしています。

宗谷地方南部地震と後発地震注意情報

宗谷地方南部で群発的な地震活動が今年に入り2週間で40回以上観測されたが町としてどのように捉えているか。

町長 気象庁等関係機関の情報を見ながら、防災体制の整備を図り、防災訓練の実施や防災意識の啓発等、平時からの備えを着実に進めていくことが重要であると考えている。

北海道三陸沖後発地震注意情報で町民の方々は不安な日々を過ごされました。町としてどのような対応・対策を取ったのか。

町長 国の運用開始後初めての発表となり、想定される津波が3メートルであることから町公式ホームページ、LINE、Xを活用し周知するとともに、避難所や防災資機材の点検等を実施しました。

津波注意報と後発地震注意情報は目的と取るべき行動が異なる。巨大地震の被害想定区域変更について国や道と調整しコミュニケーションをお願いする考えは。

町長 町民の不安を払拭でき



やなぎはら ひろゆき
柳原 浩之 議員



雄武町総合計画

総合計画の構造と計画期間を第七期以降も現在と同じように行う考えか。

町長 現在の総合計画の策定根拠は条例があり、10年前の3月議会で制定されています。総合計画を策定した時点と動きが変わってきているの

は認識しており、総合計画の位置づけを含め構成計画期間、進行政管理等を整理していくよう指示をしており、整理ができた段階で改めて議会に提示させていただき進めてまいります。

※その他、行政執行方針、教育行政執行方針の重点施策・基本姿勢を聞きました。

道の駅おうむを拠点とした観光振興と「防災道の駅」としての整備

道の駅の老朽化が進んでいる現状とこれまでの修繕対応を踏まえ、今後の維持・更新に対する町の認識は。

町長 道の駅は供用開始から約28年が経過し、各所で経年劣化が進行している。これまで部分的な修繕を実施してきたが、産業施設等長寿命化計画の機能診断結果において、今後も部位修繕による対策が必要であることを認識している。

展望台を重要な観光資源と捉え、道の駅再構築にあたり体験型コンテンツや観光プログラムを導入を検討する考えがあるか。

整備構想を議論する中で、展望台を活用した体験型コンテンツや観光プログラムについても検討していく。

隣接するエコーコップ雄夢や漁協直売店海鮮丸との連携について、現状の評価と今後一般的な取り組み方針を町として進める考えがあるか。

町長 これまで十分に議論されてこなかったが、経済効果の観点から重要と認識しており、道の駅再構築の検討過程でエリア全体の魅力向上を含めた連携のあり方を議論していく。

国が進める「防災道の駅」制度について、町としての意義や期待される効果をどのように認識しているか。

産業振興課長 「防災道の駅」の意義としては

・大規模災害時の住民の安全確保や迅速な復旧活動の拠点となること
・道路寸断など孤立リスクのある沿岸部において、受援体制を確立し、全国からの支援物資や救援部隊を円滑に受け入れる拠点となること

・建物の耐震化・無停電化・通信手段・水の確保などのハード面整備と、業務継続計画の策定により、有事の対応力を飛躍的に高められること
このことが挙げられる。国からの財政支援が活用可能であることも、意義のひとつとして認識している。

道の駅を広域的な防災拠点（防災道の駅）として位置付ける可能性や、現時点での評価については。

町長 平時の観光振興や地域

製品の販路拡大と、非常時の物資集積・受援拠点機能を兼ね備えた多機能複合型とすることが基本方針とされる。現状では地理的条件や全国の指定制を踏まえ、防災道の駅として即指定するのは慎重であるが、防災機能の強化は必要と認識している。再構築にあたっては、施設老朽化・整備水準、観光・防災等の機能水準の役割定義、国補助の活用や運営の持続可能性の3点を課題として庁内で検討を進める方針である。

今後の機能更新・再構築における課題と基本方向性について、特に、防災道の駅化も含めた課題整理と今後の方針を確認したい。

町長 長年の課題整理や周辺

施設との連携、防災機能の付加などが主要な検討事項とされている。庁内検討組織で、他地域のリニューアル事例も参考にし、道の駅のランドマーク性や観光経済への貢献も踏まえて、議会と連携しながら慎重に方向性を整理して進めていく方針である。

(※) 防災道の駅

大規模災害時に避難や物資輸送の拠点となる機能を強化した「道の駅」です。

平時は、観光や地域交流の場としても活用されます。

道の駅の機能更新・再構築の課題と方向性は

議会と連携しながら慎重に整理し進める（町長）



やすもと しみみ 安本 明志美 議員



道の駅機能強化に向けた取り組みは

私も先頭になって進めてまいりたい（町長）

道の駅、エーコープを核とした中心市街地の賑わいの創出

——昨年12月議会で、国の地方創生臨時交付金を原資にエーコープへ500万円の経営支援を行ったが、今後同様の支援要請があれば応じる考えはあるのか。

町長 近年の仕入価格の高騰や固定費の増加、また、雄愛園の食材購入の減少などにより厳しい経営状況が続いており、国の地方創生臨時交付金の経済対策として特別に対応したということです。

——道の駅機能強化に向けエーコープとの有機的な連携を検討すべきと、歴代の町長に提案してきたが、話は進まなかった。高橋町長は本年行政執行方針で「道の駅の観

光経済のウエートが高いので今後の道の駅の在り方について庁舎内に検討組織を立ち上げる」と表明し、ようやく動き出したと感じている。今後、エーコープの経営問題、存続に向けた方策等、経営主体の北オホーツク農協との協議、検討が必要となってくる。経営不振で閉店という事態はあってはならないので、取り組みを進めてもらいたい。

町長 道の駅に関しては色々な問題があると承知しているので、今回強めに行政執行方針に出させていただいた。役場の中でも横断的に関係する内容ですので、私も先頭になって指揮をとって進めてまいりたい。

遊休農地を活用したシルバー農園開設の検討

——町は高齢者福祉対策とし

て施策を実施している。施策自体は非常に良いことだと思うが、高齢者の社会参加を促す施策が無いように感じる。

遊休農地を活用したシルバー農園設置の検討ということで、長野県上田市の資料を担当課長にお渡ししているが、どのように受け止めたか。

町長 高齢者の社会活動は高齢化社会において必須なことですが、なかなかいい施策が出てこないのが現状です。

——上田市の例でも、シルバー人材センターがベースになっている。町できっかけを作ること、人も集まるのではないか。

地域福祉課長 令和8年度高齢者保健福祉計画を作るので、今までもこういった項目はあ



しまむら よしふみ
嶋村 義文 議員



りましたが、一歩踏み込んで進めてみたいと考えます。高齢者保健福祉計画の策定委員の中に老人クラブ連合会や社会福祉協議会も今まで入っていたので、皆さんから意見を聞いて進めていきたい。

は1290万7千円の見込みです。

有害鳥獣駆除に対する町民理解向上策

——令和6年、令和7年の有害鳥獣駆除に対する町の支出金額は。

産業振興課長 令和6年は1134万3千円、令和7年

——町の要請による猟友会有害鳥獣駆除活動に対する町民の無理解が原因で、猟友会の駆除活動に支障が出る例（積丹町・奈井江町・蘭越町）が散見される。駆除活動への町民理解向上のため啓蒙活動が必要と考えるが。

町長 啓蒙活動については、行政がしっかりやらなければならぬと思っています。

雄武町におけるごみ処理

令和5年より毎年一般廃棄物の一部(当初は不燃ごみを予定していたが、プラスチック等が多量に混入していることから可燃ごみに変更)を毎年120トン搬出し焼却処分している。これは雄武町の最終処分場の延命処置にもつながる。

予定されているのは令和9年までだが、令和10年以降の計画や、今後の分別方法は。

町長 令和10年度以降の広域ごみ処理センター搬入計画等は、当時の予定では搬入トン数等が決まった中で広域組合として方向を決めていくスケジュールでした。しかし広域組合のほうでそこが進んでいない状況であり、そのことを積極的に求められている状況では

ありません。

住民生活課長 担当レベルの会議は今進めているところで

す。令和10年度以降は新たな協定が見込まれますが、現在雄武町も含めて他の町村のごみの分別、持ち込みのごみの分別、また搬入量も含め、それぞれの見見調整を行っています。町として最終処分場の延命や費用の関係もあるもので、適切に判断をして協議にのぞみたいと考えます。

また分別方法の見直しは、少子高齢化による人口構成の変化等がありますので、指定ごみ袋の種類も含めた検討が必要な時期に来ているため、西紋各市町村の分別方法等も参考にしながら進めてまいります。

プラスチック等の資源ごみ

——一般廃棄物処理基本計画の進捗状況等を伺いたい。ま

た来年度から稼働する新しいリサイクルセンターの詳細をお聞きしたい。

住民生活課長 現在雄武町で

資源として活用している部分については、容器包装リサイクル法に基づくとごみとして分別をしています。現在、西紋5市町村においては、製品プラスチックごみを資源として活用するために協議を進めています。当初は新しいリサイクルセンターの中で処理する方法を進めていましたが、手続き上の関係もあり、令和9年4月以降に分別を始める予定です。雄武町としてもその時期に合わせて、分別方法等も含め、町民に周知をしてまいります。

リチウムイオン電池等の回収方法

——12月定例会においてモバ

イルバッテリーの処理について質問した。1月から早速回収を開始されたと聞き、迅速な対応に本当に安心している。

広域ごみ処理センターでも近年、モバイルバッテリーの搬入がある。不燃物ごみが原因で多少の煙が出たことがあったと聞いた。不適切な分別による火災発生により、埼玉県川口市では施設復旧費などで総額50億円以上、上尾市でも復旧費用が5億円以上上がったと聞く。

現在は対象に含まれていない電子たばこ類、リサイクルマークがない製品、外国製品、これらに関する対応は。回収方法の練り直し、再度の周知や喚起は考えているのか。

住民生活課長 モバイルバッテリーの回収についてはご意見いただき、1月から回収拠

点を役場と町民センターに設置しています。回収は電池が外せるものに限り、電池のみを回収します。スマートフォンや電子たばこなど、電池が外せないものについては小型家電の回収ボックスに入れていただきます。

このボックスに入れてぶち！



みぞた まさし
溝田 昌志 議員



議会改革調査特別委員会 調査中間報告書



【はじめに】

雄武町議会は、令和2年6月に議会活性化調査特別委員会を設置し「議会基本条例の制定」、「タブレット端末の導入によるペーパーレス化」、「一般質問のYouTubeでの録画配信」など、町民に開かれた議会と議会議員活動の活性化を推進してきました。

しかしながら、全国的に町村議会が直面している最大の課題は、議員のなり手不足問題と言われており、全国各地の自治体で町村議員選挙「無投票」が続出し、さらには定員割れも発生する状況が散見されています。雄武町議会においては、直近2回の改選では、選挙となったものの、令和9年4月の次期改選期には、後継者の課題などから無投票、定員割れも危惧される状況となっています。

このことから、令和6年9月に新たに「議会改革調査特別委員会」を設置し、前身の議会活性化調査特別委員会での取り組みを継承した「町民に開かれた議会の更なる推進」に「議員のなり手不足対策」を加えて議論を開始し、計18回にわたる委員会を開催し、今回、一定の結論にいたりましたので、中間報告として、以下、ご報告いたします。

議会改革調査特別委員会

委員長 嶋村義文



1. 委員会開催等の検討経過

令和6年 第1回（令和6年 12月 12日）

令和7年第1回（令和7年 1月 29日）

令和7年第2回（令和7年 2月 26日）

令和7年第3回（令和7年 3月 26日）

令和7年第4回（令和7年 4月 24日）

令和7年第5回（令和7年 5月 28日）

令和7年第6回（令和7年 7月 24日）

令和7年第7回（令和7年 8月 28日）

令和7年第8回（令和7年 10月 3日）

令和7年第 9回（令和7年 10月 24日）

令和7年第 10回（令和7年 11月 10日）

令和7年第 11回（令和7年 11月 25日）

令和7年第 12回（令和7年 12月 12日）

令和7年第 13回（令和7年 12月 25日）

令和8年第 1回（令和8年 1月 16日）

令和8年第 2回（令和8年 1月 26日）

令和8年第 3回（令和8年 2月 3日）

令和8年第 4回（令和8年 2月 26日）

【特別委員会の開催状況】

<先進地視察調査>

○道外行政視察調査（議会改革関係） 令和7年10月27日～30日

視察先 福島県会津若松市議会

内 容 「議会改革について」

○道内行政視察調査

令和7年12月2日

視察先 興部町議会

内 容 「議員なり手不足対策・議会改革の取り組みについて」



<議員定数・議員報酬に関する町民意見交換会>

○雄武会場 令和8年2月10日 地域交流センター 町民 8名参加

○沢木会場 令和8年2月12日 沢木住民センター 町民 5名参加

○魚田会場 令和8年2月13日 音稲府地域住民センター 町民 2名参加

○幌内会場 令和8年2月14日 幌内歴史と生活の家 町民 1名参加

《主なご意見》

- 議員のなり手不足は、人材育成が大切
- 議員報酬の引上げは良いが、議員活動の見える化が必要
- 議員定数を削減した上での報酬増額であれば良い

2. 中間報告事項

(1) 議会報告会及び

町民意見交換会

町民の多様な意見を聴取し、町民と町政の課題を共有するため、議会報告会及び意見交換会を実施しました。一人でも多くの方が参加できるよう開催時期、開始時間、曜日を工夫しながら、計4回実施し延べ58名の参加をいただきました。

町民から生の声を聴き、ディスカッションすることで、町政の課題を共有することができてきていることから、今後も実施を継続するとともに、更に幅広く意見を聴取するため、議員が出向く「出張型」の意見交換会も開始するなど、「議会活動の見える化」の更なる推進が必要です。

(2) 議員定数の適正化

議員定数については、議論のできる人数、議会運営機能の維持のため、定数10人を維持することが望ましいとするものの、2月10日から町内4

か所で開催しました町民の皆さまとの意見交換会において、「人口減少、議員報酬増額による町財政への影響を考慮し、一定程度議員定数を削減すべき」とのご意見をいただき、再協議の結果、定数を1削減し議員定数9人が適切と判断いたしました。

(3) 議員報酬の見直し

議員のなり手不足問題は、さまざまな要因がありますが、その大きな要因のひとつが低額な議員報酬にあると言われております。近年、地方分権改革の進展に伴い地方議会の役割が大きくなり、各町村議会の議会改革の取り組みが加速し、議員の活動量は増加していますが、議員報酬の水準はほぼ30年以上変化のないままとなっております。

このため、令和6年7月、全国町村議会議長会において「地方自治における議会の重要性を考えた場合、全国の町村議会が一定水準以上の活動をし、議員報酬の水準を確保していくことが重要」と決議され、議員報酬額決定までの

指針が示されました。

本町議会においても、地方行政における二元代表制の一方の機関として、町民の意思を町政に的確に反映させ、雄武町としての最良の意思決定を導く責任を負っており、町の未来を議決する機能を十分に発揮するため、「後継者育成のため若年層を含めた幅広い世代からの新たな人材の発掘」、「町民に開かれた議会活動の更なる活性化を図るための議員の活動量の増加」を考慮した適正な報酬水準を確保するため、次の改選期から大幅な引き上げが必要との結論にいたしました。



議員定数・議員報酬に関する町民意見交換会

(4) 議員のなり手不足対策の取り組み

議員のなり手不足の原因のひとつとして、全国町村議会議長会の提言では、議会の役割と議員のやりがい、住民に十分浸透していないとの指摘から、議会が取り組むべき対策として、議会広報紙の充実をはじめ、議会報告会・町民意見交換会の開催、議会のユーチューブ配信等の取り組みなどが挙げられています。

本町議会においても、これらの取り組みを進めているところではありますが、なり手不足の改善にまで実を結んでいるとはいえない状況にあります。

今後は地域に貢献したい方々が躊躇することなく、次期改選期に向けて新たに議員となる意欲を持てるように、現職議員がその後押しをするため、議会が主体となつて将来の議員を養成する講座の実施を早急に検討する必要があります。

3月23日に議会議長、議会改革調査特別委員長から「雄武町議会議員の報酬の見直しに係る要望書」を雄武町長に手交しました。

《要望内容》

議員定数、議員報酬の見直しについては、次期改選期（令和9年5月）から議員定数を10人から9人とする。

議員一人報酬月額を180,000円から240,000円とする。

要望書については、雄武町特別職報酬等審議会を設置いただき、議員報酬の額の見直しについての審議を要望する内容となっております。



（左から）嶋村委員長・橋詰議長・高橋町長

出張!!

どこでも

意見交換会

—— お気軽にご相談ください。議員が出向きます! ——

募集内容

- 対象者：**町内に所在する5名以上の町民等
- 場所：**町内の公共施設など
- 開催目的：**団体やグループなどの活動内容に沿ったテーマで議員と意見交換を行い、課題の共有や相互理解を深めるとともに、ご意見やご提案などを議会活動に反映させ、政策提言などに生かします。



詳細・参加申込書は町公式HPでご確認ください

その他の採決結果

※一部

※ 賛否が分かれた議論はありませんでした。

3 月 定 例	雄武町地域医療確保対策基金条例の制定 効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに、町民が安心できる医療サービスを提供するため、基金の設置が必要となったもの。	可 決 (異議なし)
	雄武町母子健康包括支援センター設置及び運営に関する条例の廃止 雄武町子ども家庭総合支援拠点及び雄武町母子健康包括支援センターを統合し、新たに雄武町こども家庭センターを設置することから、当該条例の廃止が必要となったもの。	可 決 (異議なし)
	雄武町簡易水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 雄武町公共下水道事業計画期間の延伸による計画人口の変更に伴い、一部改正が必要となったもの。	可 決 (異議なし)
	雄武町過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更 雄武町過疎地域持続的発展市町村計画（令和 3 年 9 月 17 日策定）について、新たな事業の追加が必要となり、北海道知事との協議が整ったので、議決を求めるもの。	可 決 (異議なし)
	雄武町過疎地域持続的発展市町村計画 雄武町過疎地域持続的発展市町村計画（令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間）について、北海道知事との協議が整ったたので、議決を求めるもの。	可 決 (異議なし)
	町道の認定 番号 234 の路線（日の出 8 号線）について、町道として認定し管理するため、提案するものもの。	可 決 (異議なし)
	オホーツク町村公平委員会委員の選任 （舟木淳次氏・任期：令和 8 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日） オホーツク町村公平委員会委員五島巧氏が令和 8 年 3 月 31 日をもって任期満了となるので、後任の委員を選任しようとするもの	同 意 (異議なし)
	雄武町介護保険条例の一部改正 介護保険料の算定にあたり、令和 7 年度地方税制改正に伴う減免の申請書の提出を要しない旨の規定を設けるもの。	可 決 (異議なし)
	雄武町中小企業等融資あっせん条例の一部改正 令和 8 年 3 月 31 日までを期限とする中小企業等への融資あっせんについて、引き続き中小企業等に対する経営安定及び基盤強化を図るもの。	可 決 (異議なし)
	雄武町営住宅条例等の一部改正 町営住宅の駐車場使用料に関する規定が必要となったこと、及び令和 8 年 4 月 1 日から興部警察署が紋別警察署と統合することに伴うもの。	可 決 (異議なし)

議会日誌

令和 7 年 12 月

11～12 日	第 5 回定例会開催
12 日	議会運営委員会開催
//	第 12 回議会改革調査特別委員会開催
//	第 17 回議会広報特別委員会開催
16～18 日	関係機関挨拶まわり（札幌市）、議長
18 日	北海道開発局水産課長懇親会出席、議長
20 日	龍神講魚霊祭出席、議長
25 日	第 13 回議会改革調査特別委員会開催
27 日	第 18 回議会広報特別委員会開催
27 日	雄武消防団歳末特別警戒督励式出席、議長ほか 1 名

令和 8 年 1 月

1 日	令和 8 年雄武神社元旦祭出席、議長
4 日	雄武消防団出初式出席、議長ほか 7 名
9 日	雄武町新年交礼会出席 議長ほか 8 名
11 日	令和 8 年雄武町二十歳の集い出席、議長ほか 1 名
15 日	教育長歓迎会出席、議長ほか 7 名
16 日	第 1 回議会改革調査特別委員会
//	第 1 回議会広報特別委員会開催
26 日	第 2 回議会改革調査特別委員会開催

2 月

3 日	第 2 回議会広報特別委員会開催
//	議員協議会開催
//	第 3 回議会改革調査特別委員会開催
8 日	令和 7 年度武雄市児童交流訪問団来町に伴う雄武町歓迎会出席、議長ほか 3 名
9～10 日	オホーツク町村議会議長会役員会、総会（遠軽町）出席、議長

10 日	議会議員定数・報酬に関する町民意見交換会開催（雄武会場）
12 日	議会議員定数・報酬に関する町民意見交換会開催（沢木会場）
13 日	議会議員定数・報酬に関する町民意見交換会開催（魚田会場）
14 日	議会議員定数・報酬に関する町民意見交換会開催（幌内会場）
17 日	第 3 回議会広報特別委員会開催
18 日	第 40 回北方圏国際シンポジウム（紋別市）出席、議長ほか 1 名
25 日	雄武町森林組合第 73 回通常総会出席、議長
26 日	雄武高等学校存続対策協議会出席、議長ほか 1 名
//	第 4 回議会改革調査特別委員会開催
//	議会運営委員会開催

3 月

1 日	雄武高等学校令和 7 年度卒業証書授与式出席、議長ほか 8 名
3 日	雄武漁協大漁祈願祭・龍神講大漁祈願祭出席、議長
4 日	議会全員協議会開催
//	第 5 回議会改革調査特別委員会開催
6 日	議会運営委員会
7 日	出張 !! どこでも意見交換会開催

編集あとがき

この春ご卒業された方々とご家族の皆様、次の道に進まれる皆様に心よりお慶び申し上げます。
雄武高校では 4 月 8 日に入学式が行われ、今年は 19 名の新入生が新たなスタートを迎えました。

校長先生の式辞では、地域に根ざした少人数教育を基盤にし、3 年間で自分を客観的に見つめる冷静さと、自らの意思で主体的に挑戦する情熱を育むことをお話されていたことが強く印象に残っています。

校訓「風に立て」は昭和 63 年 9 月に制定されたもので、雄武は道内でも有数の強風が吹く地域であることから、地域の強風に象徴される厳しい環境の中で、困難に立ち向かい、さまざまな経験を通じて成長してほしいという願いが込められています。

季節の変わり目、皆様の健やかな毎日をお祈りしています。

議会広報特別委員会

委員長 遠藤 友宇子

発行／雄武町議会 編集／議会広報特別委員会 Tel：0158-84-2121 FAX：0158-88-3162

E-mail：gikai@town.oumu.hokkaido.jp